

「広報誌洋上アルプス・手作り植物図鑑・・・」

～世界自然遺産屋久島からの情報発信～

九州森林管理局 屋久島森林生態系保全センター
生態系管理指導官 山崎 勇勝
計画課 経営計画官 竹部浩一郎
(元 屋久島森林生態系保全センター)

1 課題を取り上げた背景

屋久島森林生態系保全センター（以下「保全センター」という。）では、森林生態系保全に係る調査や維持に係る業務、屋久島で活動する各研究機関との連携や屋久島レクリエーションの森保護管理協議会との連携による普及啓発活動を主な業務としています。その取り組みを屋久島町だけでなく全国にPRすることが必要と考えています。

今回、保全センターからの情報発信として毎月発行している広報誌「洋上アルプス」や「屋久島の森林」、歴代の職員が撮影した植物写真をとりまとめ作成した「手作り図鑑」等について発表します。

2 取組の経過

保全センターで最初に行った情報発信の取り組みの、広報誌「洋上アルプス」は平成7年4月保全センター設置から平成28年10月迄に259回発行しています。当初は約180部、現在は685部を島内外に配布しています。

次に、書籍では「屋久島の森林」を改訂しながら3回に渡り出版、当初は屋久島の森林を紹介する書籍も少なく、屋久島の森林入門、各登山道等の紹介、山岳登山の心構えなど屋久島を訪れる登山者に好評でした。

その他、「屋久島の森林へのいざない」、「ヤクシカ好き嫌い植物図鑑」、「手作り植物図鑑」や別途デジタル版では、屋久島の植物図鑑（標高別・生育場所別）では、データベース化した574種を閲覧できるよう作成し保全センターのホームページにもアップしています。



写真1 洋上アルプス



写真2 各書籍

3 実行結果

(1) 効果

洋上アルプスでは、各研究機関や地元観光業界、ガイドの情報源として活用されています。また、役場、郵便局等の掲示板に掲示される等、一般の方々にも認知されるようになりました。さらに、HP掲載により保全センター業務を全国的にPRすることにより、TV、新聞等の報道機関が現地取材に訪れるようになりました。

書籍では、「手作り図鑑」など島内の教育関係など幅広く配布したことにより森林環境教材として活用されています。

(2) 外部からの要望

洋上アルプスでは、一般市民が屋久島の行事に参加できる情報の提供要望や、書籍では一般の方々から販売の要望が多くありました。

4 考察

(1) 洋上アルプス

文字が大きくなり読みやすくなったが、内容が希薄になるため書式等の再検討や、記事の内容では、屋久島町民や外部が求めている情報の収集・発信が今後も必要と考えます。

(2) 植物図鑑外

書籍の外、タブレットやスマートフォンでの活用を検討します。